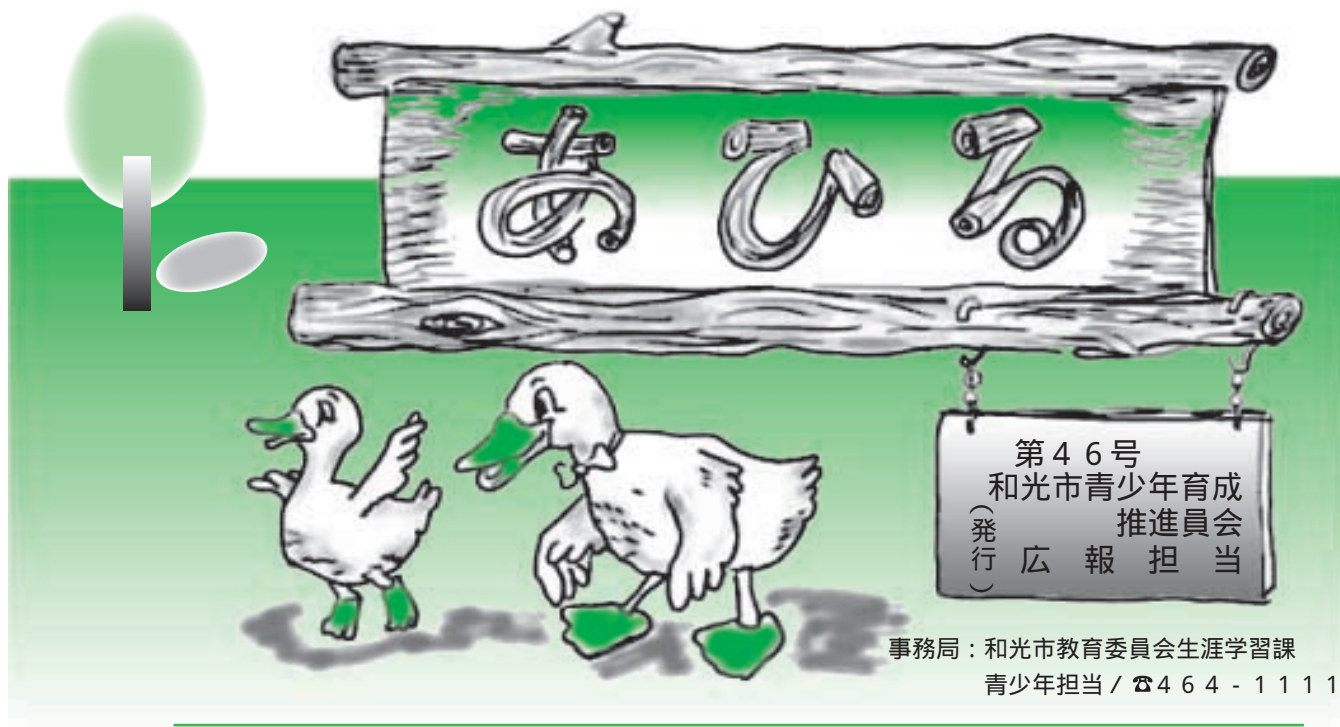




心の風邪にご用心

和光市小・中学校長会 会長 渡邊 隆子

今日ほど心の教育が求められている時代はありません。

すでに、不登校やいじめの問題を抱えている子ども達の心の闇は深刻ですが、一見問題のなさそうな子どもにも、常に注視していなければなりません。

誰もが風邪を引くように、人は時に元気をなくしたり、やる気を失うなど、心に風邪を引くことがあります。特に未成熟な小・中学生は心に風邪を引き、気づかないうちに深刻な状態になることもあります。

体に風邪を引いて高熱を出すと、親は心配し、周囲も気遣い、薬を飲んだり、暖かくして風邪を治すことを優先します。ところが、心の風邪には、気づかないことが多い

ばかりでなく、ケアをする前に鍛えようと励まします。

心の風邪にも、温かくやさしく接することが何より大切なのですが、鍛錬することで克服しようと「くじけるな、つよくなれ」と、励

まし事態を一層深刻にしてしまうことさえあります。

思春期の子ども達は、心の安定感を失うこともあり、自己否定的になって、「自分はだめだ」と決め付けたり、どん底で安定を得ようとする

ことさえあります。

自己肯定感を失った子どもは、常に「I am not OK.」の状態になっています。

「I am OK.」になり、心に勇気と希望を持つためには、たくさんの「You are OK.」のメッセージが必要なのです。

子ども達のよりよい成長を信じ、子ども達がたくましく健やかに成長することを信じ、規範を示しながら肯定的に教え育てる努力を惜しま

ず、和光市子ども教育相談室や、各中学校のさわやか相談室に気軽に相談したり、担任の教師に積極的に相談して問題を克服し、21世紀を担う児童・生徒の育成に「学校と家庭と地域」とが総合力で取り組み、豊かな心を育ていきたいと願っております。



いつの時代も、親である私達や地域の大人が、子ども達の健やかな成長を願っています。

子どもが出しているはずのサインを見逃さず、より確かな情報をキャッチして対応すべく、「学校・家庭・地域」の連携をより大切にしていきたいと思ひます。

今年も「青少年を守る店」の訪問活動を行い、学校区別に、協力店のご意見などを伺ひました。

健やかな 子どもの成長を



- 心の居場所

平成15年度青少年育成推進員の報告から

大和中学校区

- ・以前、店の周辺・トイレなどでの喫煙があったりしたが、地域の高校と連絡を取り合うことでよい方向にあり、野球部の生徒達が、自主的に、店の前の掃除（空き缶拾いなど）をしている。
- ・車の中からごみの投げ捨てなど、大人のマナーが悪い。
- ・中学の校長先生が立ち寄り（19時から20時）子ども達に声かけをしている（本屋）。

第二中学校区

- ・「18歳未満入店禁止」の店では青少年の入店を断るなどの気配りをしている。
- ・身分証明書の提示を求めたり、18時以降は入店させないように協力している。
- ・ビデオショップ、ファンシーショップでは、あらかじめ高価な商品について万引き防止対策をしている。
- ・深夜、コンビニの前がたまり場となり、飲食をしごみを散らかしたままにするため、隣近所から苦情がある。

第三中学校区

- ・万引きの様子が伺える時は目を離さず見守っている。
- ・学校付近のお店は、学校外での子ども達の様子も気にかけている。
- ・東京都の隣接地なので、市外での子ども達の行動が気になる。
- ・注意をすると、大人も子どもも逆に反論してくる。
- ・商品の陳列を考慮し、万引き防止に努めている。
- ・大人のマナーが悪い。

（まとめ）

青少年をまもる店の各店では、常日頃、地域の青少年健全育成に協力し、非行防止に努め私達の活動に惜しみない協力と温かい理解をいただいています。

お話を伺う中で、大人のモラルも問われたりしますが、そのとおりかもしれません。今年も訪問を終えて思ひましたが、一人ひとりが声をかけ合うことや喚起を促すことで、未然に防げることが多くあるのではないのでしょうか。



▲新しいプレート

和光市の交番

- 和光交番
☎461-2111
- 駅前交番
☎465-8672
- 西大和交番
☎463-1202
- 新倉駐在所
☎465-0100



朝霞警察署少年補導員に

ご相談ください。

（朝霞警察署 ☎465-0110）



▲青少年をまもる店へ訪問活動中の推進員



めざして

あ り ま す か

少年指導員との情報交換会

【パトロールの現状について】

7月9日、定例会時に、標記の会が行われました。少年指導員の活動は、朝霞警察署から指示された時間帯に、和光市内を定期的にパトロールして、不審な行動、未成年者の喫煙などに声をかけをし指導に努めております。

現 状

- パトロール中、少年指導員として声をかけることはあるが、補導の件数は減っている。
- 深夜などの時間帯に外出している少年の、警察による補導が増加している。
- カラオケボックスでの喫煙、制服のままの出入りがある。
- ビデオ及びC D店では、ビデオの万引きが多い。

- 公園などにはごみが散乱している。

対 策

- 大人のモラルが悪いと子どもが悪くなることを認識する。
- 未成年者の23時以降の外出は補導の対象で、親の責任であり、罰せられることを認識し、子どもに注意してほしい。
- 警察や少年指導員との情報交換をする。

感 想

青少年の犯罪が続く今、子どもを見守る地域の目がいかに大切であるかを痛切に感じました。

そして、和光市全体をよりよい環境にしていけることが大切であると思いました。

和光市青少年育成推進員会の活動について

和光市青少年育成推進員会では、次代を担う青少年が健康で心豊かに成長することを願い、地域に青少年育成運動の趣旨を普及するとともに、望ましい環境づくりを促進するため、次の活動を行っています。

- 青少年を守る店協力店の拡大
市内230店の協力店を訪問し、地域の様子などを伺い協力をお願いする。

- 優良図書などの利用宣伝及び有害図書などの追放
有害図書などの自動販売機の設置はゼロを遂行中。

- 地域における青少年健全育成の整備
地域の祭り・行事などに参加し見廻りなどパトロールの実施

- 広報
年2回(9月、3月)広報「あひる」を発行(活動報告、啓発活動)し、広く青少年健全育成意識の高揚を図る。
地域の図書文庫などをまとめて図書マップを作成し、広く配布して啓発を図る。

- 「家庭の日」の普及と推進
広報「あひる」などで呼びかけ。



「家庭の日」のシンボルマーク

食卓に笑顔が集う家庭の日

「家庭の日」のキャッチフレーズ

平成15年度青少年育成推進員名簿

(会長 ○ 副会長)

氏 名	選出区分
1 大坂 良子	地域代表
2 服部ひろ子	地域代表
3 大谷 鉄子	地域代表
4 大塚志津子	地域代表
5 栗原千賀子	地域代表
6 池田まゆみ	地域代表
7 ○ 小山 寿恵	地域代表
8 跡部 厚子	地域代表
9 内藤 礼子	地域代表
10 畠山小百合	地域代表
11 永井 容子	地域代表
12 大泉 久子	地域代表
13 布施恵利子	地域代表
14 富澤 由美	白子小学校
15 中山 賀世	白子小学校
16 橋本亜希子	新倉小学校
17 内野 宣子	新倉小学校
18 市川 美幸	第三小学校
19 阿部 勤子	第三小学校
20 塚本 裕子	第四小学校
21 本多 清美	第四小学校
22 湊谷恵美子	第五小学校
23 鈴木 照美	第五小学校
24 竜門 久美	広沢小学校
25 中谷ゆかり	広沢小学校
26 荒木 直子	北原小学校
27 仲嶺 恵子	北原小学校
28 水谷ヒサ子	本町小学校
29 土屋恵美子	本町小学校
30 大槻 洋子	大和中学校
31 森 凡枝	大和中学校
32 丸山 昌子	第二中学校
33 私市久美子	第二中学校
34 田島 和枝	第三中学校
35 畔柳 和子	第三中学校

ふれあい あれこれ

15年4月、和光市に7人の新任先生が着任いたしました。
フレッシュ溢れるメッセージを、今号と次号でお伝えします。



児童とふれ合って

白子小学校 教諭 河野 孝章

休み時間になると、われ先に校庭に飛び出して いく子ども達。子ども達のパワーに圧倒されそうな毎日です。担任をしている4年生の子ども達は特に元気いっぱい、勉強に、行事に、精一杯取り組む姿を見せてくれています。

春の運動会では、毎日の練習で子ども達の頑張りを目の当たりにし、本番での競技、演技に確かな成長を感じました。これからも、子ども達と一緒に遊んだり、子ども達の話に耳を傾けたりする時間をたくさん持ち、一人ひとりについての理解を深めていきたいと思っています。

豊かな教育環境の中で

第四小学校 教諭 石塚 光

和光市は東京都に隣接しており、樹林公園をはじめ「自然の憩いの場」が多い地域だと思います。

子ども達はカナヘビを捕まえたり、花の蜜を吸ったりして遊ぶなど、自然の中に溶け込んで過ごしているようです。

本校には諸外国からの子ども達が集まっています。その国々の言葉や食文化、生活習

慣の違いは、日本の子ども達にとっては驚くことばかりです。しかし、心の素直な子ども達は交流を通してその違いを受け入れ、お互いに成長していくのだと思います。これからも、文化に限らず、様々な体験を通して豊かな思考力や広い心を培ってほしいと思います。



子どもを通して感じたこと

新倉小学校 教諭 久保 賀子

初任者として新倉小学校に来て、早くも3か月が経ちました。多くの研修や、慣れない学級担任の仕事に追われていますが、子どもの笑顔を見ると、やはり心が安らぎます。

この3か月で子どもを通して感じたことは、自分は子どもによって成長させられているということです。子ども達は、小さな心の動きを様々なサインで示してくれます。

そのサインを受け取り、不安や心配を取り除いてあげることも教師の仕事だと感じま

した。子どもの目線に立って謙虚な姿勢で接していきたいと思っています。そうすることで、子どもの心を理解でき、教師として少しずつ成長させてもらえるのだと思います。

喜びを感じての日々

広沢小学校 教諭 渡邊謙太郎

子ども達はみんな明るく、素直で、希望に満ちていて、溢れる可能性を感じています。そして、子ども達のたくましさやひたむきさに出会うたびに、教師になれた喜びを感じている毎日です。子ども達と共に過ごす時間を大事にして、子ども達が伸びようとしているときの苦労や喜びを感じられる教師でありたいと思います。

そのためにも、できるだけ多く一緒に遊ぶ時間を持つように心がけています。一緒に遊ぶことで子どもがよく見えるように感じます。

目の前にいる子ども達に対して感じることを大切にしてい、自分はこの子ども達に何ができるかを考え、できる限りの援助をしていきたいと思っています。

「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気をもとう。

薬物乱用を防止するためには！！

- 覚せい剤の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと
- 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること

薬物が体と精神におよぼす影響

頭	精神機能の異常 (幻覚・妄想) 意識障害、罪悪感の
眼	消失 視力障害、失明
歯	ボロボロになる (有機溶剤)
呼吸器系	呼吸困難
心臓	心不全、心臓発作
その他	食欲減退、貧血 骨や筋肉の発育不全

「あひる」に関するご意見・ご感想を事務局（生涯学習課青少年担当）へお寄せください。